

# 宇陀市 有機農業実施計画

## 1. 市区町村

宇陀市

## 2. 計画対象期間

令和5年から令和9年

## 3. 対象市町村における有機農業の現状と5年後に目指す目標

### ア 有機農業の現状

宇陀市は、奈良県北東部の大和高原地域にあり、夏季冷涼な気候に恵まれること等から、有機農業が盛んであり、県全体の有機農業経営体数の45%が耕作している。

有機農業の担い手は、農業法人が4社あり、11戸の個別の生産者と合わせ15の経営体が施設軟弱野菜生産を中心に経営を展開している。栽培面積は21.2ha、販売量は275.2tであり、露地野菜の生産を積極的に取り組む経営体もあり様々な有機農産物が生産されている。

特に市の伊那佐東部地区では、県や大和高原南部土地改良区と連携し、県の独自施策である「特定農業振興ゾーン」を設定し、有機軟弱野菜の生産拡大に取り組んでいる。

そこでの課題は、有機農業に取り組むことで増大する労働量や流通ロスの低減、多様な販売先確保、そして担い手の育成である。

有機野菜は主に相対取引のため、計画出荷が必要となる。軟弱野菜は日持ちがしないため、現在の流通は収穫当日に出荷を行っており、計画播種を行っているものの、気候によっては作物の生育程度により流通ロスが発生する。また、有機栽培では慣行栽培よりも病害虫のリスクが高く、規格外品の発生が多くなる。実需者への聞き取りによると、規格外品については、流通のルートが確立すれば利用したいとの意向が大手企業を中心に強くある。そのため、これらの課題を生産、流通、加工、消費、担い手の確保・育成、遊休化してくる農地活用の取り組みを通して解決していく必要がある。

### イ 5年後に目指す目標

- |              |    |        |   |    |      |
|--------------|----|--------|---|----|------|
| ○有機農業の面積拡大   | R3 | 21.2ha | → | R9 | 22ha |
| ○有機農産物の販売量拡大 | R3 | 275.2t | → | R9 | 290t |
| ○有機農業者の増加    | R3 | 15人    | → | R9 | 20人  |

## 4. 取組内容

### ア 有機農業の生産段階の推進の取組

- ・ 有機農業の普及

有機農業への新規参入に向け、研修会の開催や参入に向けた支援を行い、市内畜産堆肥の生産や活用方法を検討・改善していくことで有機資材を供給し、有機農業者の増加、取り組み面積の拡大を図る。

- ・ 生産出荷調整作業の改善

有機農業者に対して圃場や出荷調整作業場の作業効率改善によるフードロス削減指導研修会を開催する。有機農業者自らが作業効率を改善することで、出荷量の増加、栽培面積の拡大を実現する。

- ・ 長期鮮度保持の実践・拡大

電場冷蔵庫等を活用し、収穫物の長期保存や出荷調整を実践し、普及・定着を図る。急な気象の変化等により予定時期よりも早く収穫適期に達した有機軟弱野菜等を保存することで、計画していた時期に出荷できる仕組みを構築する。

### イ 有機農業で生産された農産物の流通、加工、消費等の取組

- ・ 加工品の開発

規格外品の常温保存可能なペーストを試作する。更に、食品加工業者と連携し、ペーストを利用した二次加工商品（カレー、スープ等）を開発し、業務用としての販路を確立する。また、市内の有機農業者から出てくる規格外品を集荷し、ペースト加工業者に配送する仕組みづくりを検討する。

- ・ 加工品の PR・規格外品の活用

市内及び県内、都市部の飲食店、市内イベント等での消費者を対象としたペーストや規格外品の活用に向けた PR 活動を行う。飲食店等とともにペーストを活用したメニューを開発し、外食での食材利用を拡大するとともに、家庭で調理可能なレシピの開発、普及を図ることで、個人消費者向けの販路も確立する。

- ・ 規格外品の物流開拓・商品化

規格外品のこども食堂等への出荷を拡大し、ニーズに合った商品形態を検討、確立する。規格外品の調整、配送作業を福祉施設等に委託すること等により物流コスト

を削減することで、有機農業者・こども食堂ともにメリットがある持続可能な仕組みを構築する。

- 消費 PR 活動

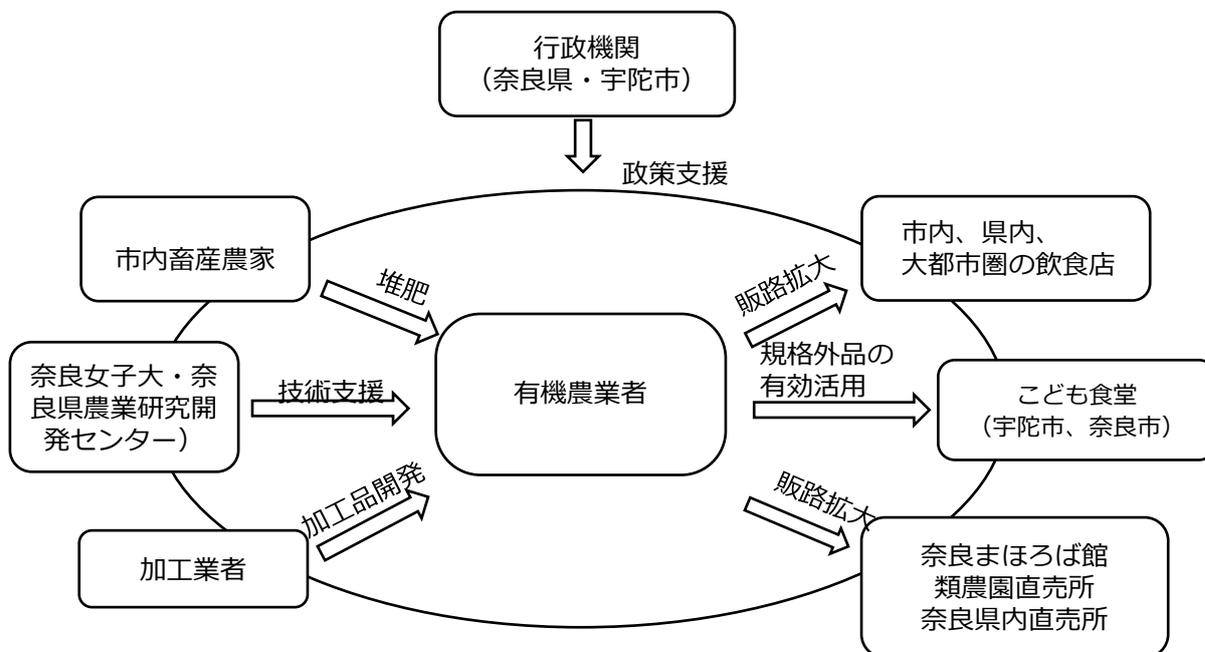
商談会等での新たな販路拡大に向けた PR を行うとともに、市内・県内消費の拡大に向け、市内マルシェ、市内外直売所、イベントへの出店支援や市民への食育活動に取り組む。市内、県内の直売所に有機栽培農産物販売コーナーを設置する。

- 地域を紹介する PR ホームページ・シンボルマーク製作・運用

宇陀市の有機農産物の購入を促すためシンボルマークを作成・活用し広報するとともに、関係者・関係機関と連携し、より効果的に活用できるように HP の制作・運用を行う。宇陀市内産の有機栽培農産物を取り扱う店舗（量販店、直売所、レストラン等）を紹介するサイトや規格外品等を取り扱う業者向けの通販サイト（B to B サイト）の制作・運用を目指す。

## 5. 取り組みの推進体制

### ア 実施体制図



## イ 関係者の役割

- ・ 行政機関（奈良県・宇陀市）  
有機農業実施計画の実施に必要な事務・支援
- ・ 有機農業者  
有機農業に係る取組の試行・実践・PR活動
- ・ 研究機関（奈良女子大学・奈良県農業研究開発センター）  
有機農業実施計画の実施に必要な研究・助言
- ・ 畜産農家  
高品質堆肥の安定供給
- ・ 加工業者  
加工品の開発によるフードロスの削減
- ・ 飲食店  
有機農産物の活用による販路の拡大・フードロスの削減
- ・ こども食堂  
有機農産物の活用による販路の拡大・フードロスの削減
- ・ 奈良まほろば館・直売所等  
有機農産物の販路の拡大・PR

## 6. 資金計画

(別紙)

## 7. 本事業以外の関連事業の概要

奈良県の特定農業振興ゾーン「伊那佐東部地区」の取り組みとして高収益作物への転換、耕作放棄地の解消・防止、多様な担い手の確保、担い手への農地集積、農地の整備等の取り組みが行われている。

特定農業振興ゾーンの取り組みを拡大し、有機農業実施計画と連携することで、産地振興を図り、宇陀市の特産品である有機農産物を核としたまちづくりを推進する。

## 8. みどりの食料システム法に基づく有機農業の推進方針について

奈良県と共同で基本計画を作成し、計画に沿って推進を行う。

## 9. その他

## 6 資金計画

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
区分	<p><b>1. 生産段階</b> <b>2,350千円</b></p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有機農業の普及 383千円</li> <li>・長期鮮度保持の実践、拡大 1,580千円</li> <li>・生産出荷調整作業の改善 387千円</li> </ul> <p><b>2. 流通、加工、消費等</b> <b>5,650千円</b></p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費PR活動 1,440千円</li> <li>・ホームページ等の制作等 2,200千円</li> <li>・加工品の開発 1,300千円</li> <li>・加工品のPR、規格外品活用 430千円</li> <li>・規格外品の物流開拓等 280千円</li> </ul>	<p><b>1. 生産段階</b> <b>2,350千円</b></p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有機農業の普及 770千円</li> <li>・長期鮮度保持の実践、拡大 1,580千円</li> </ul> <p><b>2. 流通、加工、消費等</b> <b>5,650千円</b></p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費PR活動 1,580千円</li> <li>・ホームページ等の制作等 2,200千円</li> <li>・加工品の開発 1,300千円</li> <li>・加工品のPR、規格外品活用 570千円</li> </ul>	<p><b>1. 生産段階</b> <b>500千円</b></p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有機農業の普及 500千円</li> </ul> <p><b>2. 流通、加工、消費等</b> <b>1,500千円</b></p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費PR活動 500千円</li> <li>・ホームページ等の制作等 1,000千円</li> </ul>	<p><b>1. 生産段階</b> <b>500千円</b></p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有機農業の普及 500千円</li> </ul> <p><b>2. 流通、加工、消費等</b> <b>1,500千円</b></p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費PR活動 500千円</li> <li>・ホームページ等の制作等 1,000千円</li> </ul>	<p><b>1. 生産段階</b> <b>500千円</b></p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有機農業の普及 500千円</li> </ul> <p><b>2. 流通、加工、消費等</b> <b>1,500千円</b></p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費PR活動 500千円</li> <li>・ホームページ等の制作等 1,000千円</li> </ul>